

関西の城探訪科 講義『外国人から見た日本』

日時 2021年11月12日(金) 10:00~12:00

場所 労働会館(豊中市三和町) 3階大会議室

講師 クーセギ・マーチャーシュさん



講師のクーセギ・マーチャーシュさんは、ハンガリー第二の都市ペーチ市生まれの37歳。小さい頃から音楽とハンガリー伝統のフォークダンスの教育を受けて、プロのフォークダンサーとして活躍するとともに、大学では比較言語学を専攻されました。ハンガリー語と日本語の文法の類似点について研究するため、当時留学中の女子学生(現在の奥様)に日本語を教えてもらったことが縁となり、帰国した女性を追って来日。結婚して現在は二児の父親となり、ドイツ語教師として活動されています。

日本に暮らす外国人として、これまでに、そして今もいろいろな苦勞をされていると思いますが、シリアスなお話しにもユーモアの味付けを加えて、楽しく講義を進めてくださいました。

■母国のハンガリーを愛して止まないマーチャーシュさんだけに、ハンガリーの紹介にも熱が入ります。ハンガリーの歴史に始まり、自然や景観、言語、伝統的なフォークダンス、そして我々には馴染みの薄い食事やハンガリーワインに至るまで盛りだくさんで、講義を聴いてハンガリーを訪れたくなった受講生も多いのではないのでしょうか。

極めつけは、ハンガリーの伝統的なフォークダンスの実演。軽快な音楽に合わせて、飛び跳ねたり、回転したり、手のひらで膝や足を打ってリズムをとったりの大熱演。会場の雰囲気も一気に盛り上がりました。



■さて、本題の『外国人から見た日本』については

1. 日本人の気づいていない日本の良いところ
2. 外国人から見てちょっと変だなあと思うこと
3. 日本人が意識して変えた方がいいんじゃないかと思うこと

をハンガリーとの比較、そしてマーチャーシュさんの日本での生活実感に基づいて話していただきました。詳しい内容は「騒乱と人物からの日本史」クラスの方が本年11月5日の講座トピックスとしてONCCホームページにアップされていますので、ぜひ、その記事をご覧ください。

■「外国人は、私はこんな人間ですよ！私の意見はこうです！とアピールするけれど相手の話はあまり聴きません。日本人はちょっと違いますね。自分からあまり話さないし、意見も言いませんね。気になることがあっても、こんな事言うたら悪いんと違うやろか、とっててしまいますね。そして何でも集団で動きます。私には他の人に自分の大切な時間を盗まれているようにも思えてしまいます」と、マーチャーシュさんの見た日本の印象を語られたのが記憶に残りました。



以上